

# 環境経営事業所 訪問記 Vol.1



## ホテルゲートイン鹿児島

鹿児島市環境管理事業所

登録年月日  
2008年2月



崎元社長とフロントスタッフの方

前回の訪問記で、KES 登録事業所の訪問は、ほぼ一巡しました。今回は、他の環境マネジメントシステムで、環境経営を推進されている事業所をご紹介します。お邪魔したのは、鹿児島市船津町にある「ホテルゲートイン鹿児島」さんです。

### 沢山の改善事例

エレベーターは2009年にインバータ制御化。電気代の40%削減に繋がりました。また、窓には西日をカットする為の熱線反射フィルムを貼り、さらにブラインドを取付けることで、通常の室温より2,3度下げることが出来ました。



フィルムに関しては、高額でしたが張ることで快適さにつながり、ブラインドは木製の製品にして、見栄えもよく美観につながりました。

電球をLEDにする際は、ほとんど自ら交換し、客室廊下の天井は、アクリル板を加工して対応。浴室は、蛍光灯型電球は明るくなるのが遅い為、お客様の使い心地から、一度白熱球へ戻したあと、最終的にLEDを使用。エコとお客様満足度、両面の向上への試行錯誤が常に感じられます。



また、トイレの節水のためタンクにペットボトルを沈めることはもちろん、節水型シャワーヘッドに取り替えたことで、使い心地もよく、効果大と実感している様子。ちなみに、「前社長の時代はペットボトルではなく懐かしい銘柄のビール瓶を使用していましたよ。」と、時代を感じさせるお話も伺いました。

「トイレトーパーは、残り少なくなったものは事務所のトイレで活用しています。最近、ホルダーに使いきりのご協力を頂くシールを貼っています。ちょっとしたことですが、意外と効果がありました。」とのこと。



客室のエアコンは一括管理でき、チェックインの1時間前にフロントでつけたり、消し忘れ防止にも繋がっているとのこと。また、客室のエアコンフィルターの清掃は全社員で一ヶ月に一度おこなっているということを知り、驚きました。

### 柔軟な発想

5年ほど前に、客室全室にパソコンを設置し、通信環境は万全のようです。そして、ホテル入り口を入ってすぐに、鹿児島市内の観光案内がお店ごとに…しかもそれは全て、手作り。情報誌とは違う心のこもった、サービスの一つだと感じました。その横には、全国から訪れるお客様

の「感想メモ」がびっしりと貼られ、地元の間人とは違ふ新鮮な意見や感想が、所狭しと壁を覆っていました。

また、ロビーの壁面に、全長3mの巨大水槽が！とても綺麗な色の熱帯魚が一際目を引き、当然業者さんが管理されているのだろう…と伺ったところ、社長自ら考案された「自動水換えシステム」のもと、毎日の管理等も現場スタッフで行っているとのこと。水質管理や飼育も難しい種類の熱帯魚たち、「中学生のころから、熱帯魚は飼育していますから、循環システムや濾過装置も一部自分で設置して、難しい所は業者に依頼しました。」と、実践力・探究心・こだわり…趣味を超えた才能は、何事も楽しみながら挑戦していく姿勢に繋がっていると感じました。



## サービスとの両立

昨年から、共同スペースの設定温度 2~4℃上げ、利用されるお客様には、ご協力の御礼として『白くまアイス』を差し上げている。地元の色を取り入れた取り組みといえます。



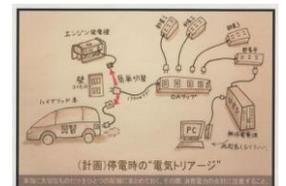
「エコへの取り組みをしていく中で感じていることは、常に前向き・やる気が大切。『細かく言う』より『気付き』が重要。サービスとの両立に気を配り、一番大切なお客様に迷惑をかけることは出来ないが、周囲を巻き込みながら、尚且つサービス（喜ばれること）を考えています。」と沢山の取り組み事例の説明のたびに出てくる言葉に、ホテル業界ならではの悩みと考え方を感しました。

更に見学させていただいた、屋上に設置しているお湯タンク(4トン)は、2004年に修繕の際、タンク内の断熱材の厚みが50mmで見積りが来ていたところ、75mmへ変更。そのため、直径の変更・ステンレス材の型の変更などで10万円程金額がアップしましたが、長い目で見るとエコにつながりましたとのこと。



## 『気付き』の大切さ

停電時の電力確保についての話になると、『電力トリアージ』と名づけたシステムを準備されていました。必要な電気の優先順位をつけ、停電時の対応も瞬時に行えるように図式化してわかりやすくされた、ハイブリッド車の電気と無停電電源(UPS)を使用するシステムです。また、実際には使用していませんが、いざという時にあわてず対応できるように準備は、万端のようです。



「エコへの取り組みをしているうちに、どんどん視野が広がり、最近ふと思うことがあります。例えば、最近では良く見る2,3階建ての立体駐車場。1階部分の照明は一日中点灯している…あれは、ムダに感じます。例えば、天井部分にスリットを入れ、光を取り込めば改善に繋がるのではと思います。条例等で決められたら、安全面を考慮したうえで変更すれば、かなりの節電に繋がると思います。」と、自分たちの身の回りだけでなく、地域全体の環境保全に関心が高まっている、まさに『環境への熱い思い』と『気付き』だと思いました。